

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	頭頸部癌における高齢者機能評価の有用性(B23-046)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 靱山香保
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>本邦は、超高齢社会となっており頭頸部癌においても高齢者のかんじ屋さんが急増しています。高齢者がん診療では、年齢や病気、併存疾患、Performance Status(PS)、Activities of daily living(ADL)、認知機能などを総合的に考慮し、治療方針を決めています。しかし、治療が予定通り完了しても当初の予測と異なる転帰を辿ることをしばしば経験します。これには、多くの因子が影響していると考えますが、現状、客観的な指標がなくそれらを明確に指摘することは困難です。</p> <p>世界に目を向けると、ASCO(American Society of Clinical Oncology)のガイドラインなどでは、がん治療を行う前に高齢者機能評価を(Geriatric Assessment, GA)を実施し身体的、精神的、社会的な機能を総合的に評価し問題点を明らかにし、必要な介入をすることが推奨されています。</p> <p>高齢者頭頸部癌に対する治療介入において、種々の高齢者機能評価の有用性を検討することを本研究の目的とし、今後の診療においてより安全で適切な医療の提供を目指します。</p>
調査データ 該当期間	2020年1月1日～2023年5月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に、北里大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて頭頸部癌と診断され、治療介入された65歳以上の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>上記期間内の電子カルテに記載のある診療記録、高齢者機能評価項目、血液検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  
所属・職位：医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教  
担当者：榎山 香保(モミヤマ カホ)  
電 話：042-778-8111

備 考